

学校としゃかん 小学3・4年生におすすめの本 2020.9①

ごんぎつね

新美南吉／作 ・ 福田庄助／画 フォア文庫

ゴンは、山の中に住すむ、一人ぼっちの小ぎつねです。村へおりにてきては、作物をあらしたり、ぬすみとっていったり、それはわるさばかりしています。ある日、川で魚を取っている兵十（ひょうじゅう）を見かけました。ゴンは、いたずらをしてやろうと、魚の入っているびく（とった魚を入れるための籠）にちかづいていきました。

ゴンは、あとでいたずらのつみのつぐないをします。一生けんめいつくして、いつわかってもらえるのでしょうか。

ぼくら三人にせ金づくり

赤木 由子／作 ・ 赤坂 三好／絵 小峰書店

チョポン、チョポンと、さとりは十円玉を液体のそこにしずめた。まさきとたもつは、十円玉がとけてしまわないかと、心配になった。

・・・三人は、にせ金を作り、それを使うのだが、さて、そ



みかづきとたぬき

椋鳩十／作 ・ 吉井 忠／絵 小峰書店

人里ちかくのすすきのはらに住む、たぬきのおや子が、里の畑に食べものを取りに来て畑をあらします。

これは、そんなたぬきが人間におわれるお話です。犬とかりゅうどにおっかけられるも、けだもののちえと根性でにげきりません。



とんぼの空

津島節子／作 ・ 石倉欣二／絵 学研

ゆうたは、大のお父さん子。でも、大好きだったお父さんは、病気でなくなった。悲しみから立ち直れないゆうたは、ある日、ねこといっしょに、森でふしぎな男の子に出会う。その子とは？そして、お父さんが残してくれたものとは？

